

# 地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和6年12月3日

成田市教育委員会

学校評議員制度は校長の要望に応じて意見を言うことができるにとどまりましたが、学校運営協議会は校長の立てた学校運営方針を承認し、共有した上で一緒に実現や困難の解決に向けて協議や支援ができます。これまで各学校で、地域の子どもたちを健やかに育むためにどうすればよいか、学校や委員から議題が出され、熱心に協議し、中には支援までたどり着いた例もあります。まだ2年目の成田市のコミュニティ・スクールではありますが、学校を核として地域全体で地域の子どもたちを育てる体制づくりにつながってきています。

## 学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

### 平成小学校

児童の登下校中の安全管理に関する協議が行われました。

#### ●児童の登下校中の見守りや指導について地域と連携していくためにはどうすればよいか。

→気軽にできるようにしていくことがよい。現在、保護者の登下校の見守り活動と同時期にゆめ協議会やなのはな会があいさつ運動を実施しているが、時期をずらしたり場所を分散していくことで見守れる時期の幅が広がっていく。また、公津の杜中とも連携をしていくことが大切であるとの意見が出されました。



### 中台小学校

行事の時期や学校評価アンケートに関する協議が行われました。

#### ●運動会の時期を地域の慣例である10月第3週から第4週に移したことについてどうであったか。平日開催についてはどう考えるか

→1年生も学校に慣れている時期であり、気候もちょうどよかった。市の行事や学校の他の行事と重ならないのであれば移してもよい。保護者は前もってわかっていたら調整ができる。平日開催については、今年平日開催した新山小や中台中に聞いてみるとよいとの意見が出されました。

#### ●学校評価アンケートの結果についてご意見をいただきたい。

→体育館の熱中症対策についての意見に対しては、大型扇風機などが必要であれば、PTAで購入を検討していくため相談してほしいという意見が出されました。

